

酒田港港湾機能継続協議会を開催

10月28日（金）、国、県、市等の行政機関や民間事業者約20名が参加し「酒田港港湾機能継続協議会（第4回）」を開催しました。本協議会は、酒田港における地震、津波などによる大規模災害発生時に、災害による国民生活や社会経済活動への影響を最小限とすべく、行政機関や民間事業者の協同体制により、円滑な緊急物資の受け入れや早期の港湾機能回復を行うことを目的に平成25年度より開催しているもので、今回で4回目になります。

会議内容は、酒田港港湾機能継続計画のレビュー、今年度実施予定の訓練に関する説明を行い、意見交換を行いました。

意見交換では、訓練方法と想定する震度や津波浸水、東日本大震災の被害、今後の進め方などについて議論されました。

酒田港港湾機能継続計画は、実効性のあるものとするため、協議会の継続と定期的な訓練を実施することにより、問題点の抽出や、その解決策を検討するPDCAの手法により、継続的に更新していくこととしています。



会長あいさつ



会議の様子

